

世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台2017 テクニカルセッション
心の復興を支える「文化力」の仕組みを探る
～心をつなぎ 力をつなぐ～

基調講演

「文化への期待」

埼玉県教育長 小松 弥生

文化芸術による復興推進コンソーシアム

主な事業内容

つどう

つなぐ

つたえる

しらべる

つづける

震災から5年 文化の力は何をなしえたのか

1 震災時の文化施設のあり方 人々を守る拠点づくり

○公立文化施設も避難所の役割を
果たせる

震災から5年 文化の力は何をなしたのか

2 緊急対応のためのネットワーク 互助のための体制づくり

- 無形文化財のレスキューのためには
無形文化財の基本情報の集積を
「無形文化遺産情報ネットワーク」
- 自治体や文化施設の連携
例：ART Support Tohoku-Tokyo（東京都）
- 支援資金の効果的、継続的な供給

震災から5年 文化の力は何をなしえたのか

3 短期における復興支援

心のこわばりを解きほぐす文化の力

○大災害時にも(だからこそ)文化活動を

○子どもたちの心のケア

○「受援力」の存在

○支援側と受援側をつなぐ方策

ネットワークやコーディネーターの必要性

○文化団体も文化施設も普段から地域の
人々とより良い関係構築を

震災から5年 文化の力は何をなしえたのか

4 長期における復興支援

○文化の持つ社会包摂機能

○文化を土地の歴史とアイデンティティに

○新たな文化の創造と東北からの文化発信

震災から5年 文化の力は何をなしえたのか

5 文化による復興支援を進めていくために

○文化の力

人の心を動かす強い力

人と人をつなぐ力

土地の記憶を継承する力

社会包摂の力

地域創生の力

○平時の活動こそが緊急時の基盤となる

文化関係者と地域とのつながり

文化関係者のネットワーク

文化への期待

Creative City

クールジャパン文化発信

世界遺産、無形文化遺産、日本遺産

歴史まちづくり法 国際交流

文化芸術振興基本法から

産業振興 文化芸術基本法へ

オリンピック・パラリンピック 観光振興

文化プログラム

※本資料の2～7ページについては、「文化芸術による復興推進コンソーシアム 5年間の記録と今後に向けて(平成28年3月発行)
[編集・発行:公益社団法人全国公立文化施設協会、文化芸術による復興推進コンソーシアム]」を元に作成しています。